

## 令和8年度 科目選択資料集

### 外国語

#### 科目名

## 英語コミュニケーションⅡ

#### 履修条件

英語コミュニケーションⅠを履修していること

単位数	対象年次	年次優先枠	(参考) 前年度教材費
3	2	-	

#### 紹介

英語コミュニケーションⅠで身につけたことをもとに、聞くこと、読むこと、話すこと〔やりとり〕、話すこと〔発表〕、書くことの五つの領域を総合的に学習します。

#### 履修上の注意

- ・年間を通じて、〔やりとり〕〔発表〕のパフォーマンステストを複数回実施します。
- ・〔発表〕のパフォーマンステストはクラスで一人ずつ実施します。
- ・ペアワークやグループワークを授業内で多く行います。
- ・定期試験以外にも、授業内で小テストを行います。

#### 科目名

## 英語コミュニケーションⅢ

#### 履修条件

英語コミュニケーションⅡを履修していること

単位数	対象年次	年次優先枠	(参考) 前年度教材費
3	3	-	

#### 紹介

英語コミュニケーションⅡで身につけたことをもとに、聞くこと、読むこと、話すこと〔やりとり〕、話すこと〔発表〕、書くことの五つの領域を総合的に、より発展的に学習します。

#### 履修上の注意

- ・年間を通じて、〔やりとり〕〔発表〕のパフォーマンステストを複数回実施します。
- ・〔発表〕のパフォーマンステストはクラスで一人ずつ実施します。
- ・ペアワークやグループワークを数多く行います。
- ・定期試験以外にも、授業内で小テストを数多く行います。

科目名			
<h1>論理・表現Ⅱ</h1>			
履修条件			
論理・表現Ⅰを履修していること			
単位数	対象年次	年次優先枠	(参考) 前年度教材費
2	2,3	2	
紹介			
<p>論理・表現Ⅰで身につけたことをもとに、話すこと【やりとり】、話すこと【発表】、書くことの三つの領域を中心に学習します。</p> <p>とくに英語での発表（ディベートやディスカッション、スピーチやプレゼンテーション等の活動）を数多く行いますので、英語で発信する力を身につけることができます。</p>			
履修上の注意			
<ul style="list-style-type: none"> <li>定期試験以外にも小テスト（英作文テストやパフォーマンステスト）を数多く実施します。</li> <li>ペアワークやグループワーク、クラス内発表が毎回あります。評価材料になりますので、積極的に参加してください。</li> <li>論理・表現Ⅰで学んだ内容を理解していることを前提として授業を進めます。</li> </ul>			

科目名			
<h1>論理・表現Ⅲ</h1>			
履修条件			
論理・表現Ⅱを履修していること			
単位数	対象年次	年次優先枠	(参考) 前年度教材費
2	3	-	
紹介			
<p>論理・表現Ⅱで身につけたことをもとに、話すこと【やりとり】、話すこと【発表】、書くことの三つの領域を中心に、さらに発展的な内容を学習します。</p> <p>英語でのディベートやディスカッション、スピーチやプレゼンテーション等の活動を数多く行い、表現する力を身につけます。</p>			
履修上の注意			
<ul style="list-style-type: none"> <li>年間を通じて、【やりとり】【発表】のパフォーマンステストを複数回実施します。</li> <li>【発表】のパフォーマンステストはクラスで一人ずつ実施します。</li> <li>ペアワークやグループワークを数多く行います。</li> <li>論理・表現Ⅱで学んだ内容を理解していることを前提に授業を進めます。</li> </ul>			

科目名			
<h1>Practical English</h1>			履修条件
英語母語話者、準母語話者であること			
単位数	対象年次	年次優先枠	(参考) 前年度教材費
2	2,3	3	
紹介			
英語母語話者、準母語話者を対象とした発展的な内容を取り扱います。授業内では、高度な語彙を学習し、より洗練された表現力を身に付けます。また、教科書の題材や時事問題を元にディスカッション、ディベート、プレゼンテーション、エッセイライティング等を数多く行い、批判的に思考する力、表現する力を養います。			
履修上の注意			
<ul style="list-style-type: none"> <li>授業は全て英語で行われます。</li> <li>英語でのやり取りが流暢にできることが前提となります。</li> <li>グループワーク、ペアワーク、発表活動を数多く行います。</li> <li>英語母語話者、準母語話者を対象とした授業であり、高度な内容となっているので申し込みの前に英語科の先生に必ず相談し、十分に話し合ってから履修を決めてください。</li> </ul>			

科目名			
<h1>スペイン語入門</h1>			履修条件
特になし			
単位数	対象年次	年次優先枠	(参考) 前年度教材費
2	2,3	2	
紹介			
スペイン語は英語とはかなり異なる言語です。授業ではまず、スペイン語の発音、アクセント、独特な文字に慣れるところから始めます。お決まりのあいさつ、簡単な自己紹介などができるようになった後で、人称、単数と複数、性別に応じ、動詞や形容詞の語尾が少しずつ変化するのを学びます。また言葉の学習だけではなく、映画鑑賞などを通して世界各地に広がるスペイン語圏の文化に親しみ、その豊かな感性に触れます。自信がついたら、日本スペイン語協会の新スペイン語技能検定を受けてみるのもよいでしょう。			
履修上の注意			
<ul style="list-style-type: none"> <li>スペイン語の発音はかなり日本語に近いので、すぐに音が聞けるようになります。授業を休まずしっかり参加し、スペイン語の基礎を修得しましょう！</li> <li>授業中に小テストを適宜実施。</li> </ul>			

科目名			
<h1>スペイン語発展</h1>			
履修条件			
スペイン語入門を履修していること			
単位数	対象年次	年次優先枠	(参考) 前年度教材費
2	3	-	
紹介			
<p>入門で学んだ基礎的事項をもとに、さらに発展的な表現が使えるようになります。定型の語句や形容詞などを用いて、内容豊富な自己紹介などを書き、発表しましょう。</p> <p>引き続きスペイン語圏の豊かな文化を学び、世界の第二言語であるスペイン語を多角的に理解します。自信がついたひとは、日本スペイン語協会の新スペイン語技能検定を受けたり、スペイン留学を予定しているひとは、DELEスペイン語認定試験を受験するのもよいでしょう。</p>			
履修上の注意			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・スペイン語発展を学ぶにあたり、何か目標を持つとよいでしょう。スペイン語で歌えるようになりたい、サッカー留学をしたい、旅行したいなど、目標は人それぞれです。</li> <li>・授業中に小テストを適宜実施。</li> </ul>			

科目名			
<h1>中国語入門</h1>			
履修条件			
特になし			
単位数	対象年次	年次優先枠	(参考) 前年度教材費
2	2,3	2	
紹介			
<p>中国語の発音を身に付け、簡単な会話力や、基本の文法と書く力を身に付けます。</p> <p>中国及び中国語の文化に対する理解を深めます。また、中国語検定試験をチャレンジすることも可能です。</p>			
履修上の注意			
特になし。			

科目名			
<b>中国語発展</b>			
履修条件			
中国語入門を履修していること			
単位数	対象年次	年次優先枠	(参考) 前年度教材費
2	3	-	
紹介			
中国語入門で学習したことを元に、中国語の正確な発音を身に付け、会話力や、文を書く力の向上を目指します。中国及び中国語の文化に対する理解を更に深めます。また、中国語検定試験を受けることができます。			
履修上の注意			
特になし。			

科目名			
<b>中国語母語A</b>			
履修条件			
中国語を母語としていること			
単位数	対象年次	年次優先枠	(参考) 前年度教材費
2	2,3	2	
紹介			
国際人としての自覚と自信を身に付け、自分の新たな可能性を引き出すことを目標に学習します。中国の文学、歴史、社会などの基礎基本の知識を学習し、理解力と読解力を更に向上するために練習を繰り返します。また、中国語検定試験を受けることができます。			
履修上の注意			
特になし。			

科目名			
<b>中国語母語B</b>			
履修条件			
中国語を母語としていること			
単位数	対象年次	年次優先枠	(参考) 前年度教材費
2	3	-	
紹介			
<p>国際人としての自覚と自信を身に付け、自分の新たな可能性を引き出すことを目標に学習します。</p> <p>中国語母語Aの内容を踏まえ、中国の文学、歴史、社会などの知識を学習し、理解力と読解力を更に向上するために練習を繰り返します。また、中国語検定試験を受けることができます。</p>			
履修上の注意			
<ul style="list-style-type: none"> <li>中国語母語Aを履修していないなくても受講可能です。(難易度は履修する生徒のレベルによって異なります)</li> </ul> <p>※ この講座は帯を横断して開講しています。月2, 水2で行います。(火2, 木2は空きコマになります。)</p>			

科目名			
<b>韓国朝鮮語入門</b>			
履修条件			
特になし			
単位数	対象年次	年次優先枠	(参考) 前年度教材費
2	2,3	2	
紹介			
<p>日本からもっとも近い、隣の国の言葉を学びます。</p> <p>まずはハングルの読み書きができるようにします。そして自分のこと、身近なことを表現(話す+書く)し、やりとり(聞く+読む)ができるようにします。</p> <p>入門ではハングルの文字を読む、書く、聞き取ることを中心に行います。</p> <p>前期ではハングル文字の仕組みについて、後期からは韓国語の簡単な会話と文法について行います。入門では助詞、数詞、曜日、韓国語の文法を行います。</p>			
履修上の注意			
<ul style="list-style-type: none"> <li>授業内で小テスト(記述式)を行います。毎回の授業では提出物もあります。</li> <li>ハングルの文字のルールを前期のうちに習得する必要があります。後期からは会話文と文法を勉強します。</li> <li>ペアでの音読や発表があります。</li> <li>休まないでテストや発表に取り組んで下さい。</li> <li>日本語の文法をもとに、韓国語の文法を説明することが多いです。日本語の理解が難しい人は、履修することが困難です。</li> </ul>			

科目名			
<b>韓国朝鮮語発展</b>			
履修条件			
韓国朝鮮語入門を履修していること			
単位数	対象年次	年次優先枠	(参考) 前年度教材費
2	3	-	
紹介			
<p>日本からもっとも近い、お隣の国の言葉を学びます。          韓国朝鮮語入門で学んだことを生かし、自分の身近なことについてより詳しくコミュニケーションができるようにします。          文法の学習を通して、いろいろなやりとりができるようになります。          社会的なことがらについても、やりとりができるようになります。          発展では既習の文法を活用するとともに、さらに発展的な表現を習得することを目標とします。（予定を表す表現、丁寧な表現など）</p>			
履修上の注意			
<ul style="list-style-type: none"> <li>入門で学んだ文法事項をきちんと理解している人が対象です。受講者がハングルの文字がすらすら読める・書けるだけでなく、文法知識も十分に習得しているという前提で授業を行います。</li> <li>各課ごとに暗唱テストがあります。また、韓国語で作文をします。休まずに取り組んでください。</li> </ul>			